

[記入例]

※押印について令和4年度から全て廃止しております。

様式第 1

指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者 指 定 申 請 書

門真市長 様

申請される日付を
記入してください

年 月 日

申請者 氏名又は名称 株式会社 門水建設

住民票・登記簿謄本等の記載
通りに記入してください。

住 所 〒571-0053

門真市泉町7番23号

代表者氏名 代表取締役 水道 太郎

電話番号 06-6903-3131

FAX番号 06-4252-9750

E-Mail sui01@city.kadoma.osaka.jp

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたい
ので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）氏名	
フリガナ 氏 名	フリガナ 氏 名
代表取締役 水道 太郎	代表取締役から監査役までの役員全部 を記入してください（法人のみ）。
監査役 水道 花子	
業務の範囲	管工事業
登記簿謄本の「目的」欄等を参 考に記入してください。	
「機械器具調書」に 記入してください	
機械器具の名称、性能及び数	別紙のとおり

[記入例]

様式第 1

(裏面)

当該給水区域で給水装置の事業を行う事業所の名称	株式会社 門水建設
実際に事業を行なおうとする事業所の名称・所在地等を記入してください（表面の「申請者」と同じでも記入する。）※申請者の住所と営業所の住所が違う場合は、営業所の住所が存在することを証明する書類（賃貸契約書、公共料金の納付書等）の提出が必要です。	〒571-0053
	門真市泉町 7 番 23 号
	TEL 06-6903-3131
	FAX 06-4252-9750
装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
水道 太郎	12345
水道 花子	67890
「給水装置工事主任技術者免状」を参考に記入してください。 ※「給水装置工事主任技術者選任・解任届出書」と同一となります。	
当該給水区域で給水装置の事業を行う事業所の名称	
上記事業所の所在地	
上記事業所で選任された装置工事主任技術者の氏名	免状の交付番号
上記以外にも事業を行いたい支店・営業所がある場合はこの欄に記入してください。	

[記入例]

様式第 2

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、

水道法第 25 条の 3 第 1 項第 3 号イからへまでの

いずれにも該当しない者であることを誓約します。

年 月 日

申請者

様式第 1 の「申請者」欄と
同じものとなります。

氏名又は名称 株式会社 門水建設

申請される日付を
記入してください

住所 門真市泉町 7 番 23 号

代表者氏名 代表取締役 水道 太郎

門真市長 様

[記入例]

別 表

機 械 器 具 調 書

年 月 日現在

種 別	名 称	型式、性能	数 量	申請される日付を 記入してください
管の切断用の 機械器具	金切りのこ	固定式鋸弦	2	
	パイプカッター	RB-80-CV		
		(13～150mm 用)	1	
	塩ビカッター	VC40	3	
	〃	VC20	3	
	ロータリバンドソー	CB18F	1	
	電子セパソー	CR12V	2	
管の加工用の 機械器具	パイプベンダー	1/2～1 1/2 インチ	2	
	やすり	300 平型判丸型	3	
	パイプねじ切り器	N-100A	2	
管の接合用機 械器具	トーチランプ	ガスボンベ式	3	
	パイプレンチ	13～100mm	1	
	スパナ		3	
	電気ヒーター		1	
水圧テストポ ンプ	手動式テスト	T10K	2	
	電動式テスト	T30K	1	
・ 上記はあくまで参考ですので、これ以外のものでも結構です。 ・ 各「種類」の欄に記入する項目は、<u>最低1項目</u>です。				

(注) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

[記入例]

別 紙

営業形態届出書

申請される日付を
記入してください

年 月 日

門真市長 様

所 在 地 門真市泉町 7 番23号

商号又は名称 株式会社 門水建設

代表者職氏名 代表取締役 水道 太郎

給水装置工事の事業を行う事業所の「郵便番号」・
「住所」・「商号又は名称」・「電話番号」を記入して
ください。

にあたり、貴市給水区域内で給水装置工事の事
おり届け出いたします。

記

1. 事業所 〒571-0053 門真市泉町 7 番23号
株式会社 門水建設
06-6903-3131

2. 営業日・時間 月～金（土日・祝祭日除く） 9時～18時

3. 業務内容（該当業務に○印を記入してください。）

新設・改造	修繕					
給水装置工 事	水漏れ・故障の修繕・取替（屋内）				屋外給水管 修繕（掘削 等を伴うも の）	給水施設 （貯水槽・ ポンプ及び それ以降の 設備）の修 繕
	トイレ（ボ ールタップ 等）	蛇口（混合 水洗等）	屋内配管	給湯器		
○	○	○	○	○	○	○

【記入例】

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認事項

氏名又は名称 門真設備
郵便番号、住所 〒571-0053
門真市泉町7番23号
代表者氏名 門真 太郎
電話番号 06-6903-3131

1. 門真市（門真市等の連携による広域開催も含む）が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

受講年月日（受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。）	（公表： 可 不可 ）
未受講の理由を記入（非公開）	未受講
（未受講の場合、その理由）※非公表とします。	

過去5年以内の受講の有無

2. 給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

受講者名（公表対象外）	研修会名、実施団体	受講年月日
門真 太郎	給水工事振興財団 eラーニング	平成○年○月○日
門真 次郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	平成○年○月○日
eラーニング、現地研修会で実施した場合、修了証や修了年月日が明示されたもの（主任技術者証）の写し等を添付。		
自社内研修の場合は、ホームペー		
可 不可		

自社内研修の場合は申出のみとし、別途証明の書類や受講の事実を証明する押印は求めない。

※外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。

※自社内研修については、研修内容を記載してください。

※受講者名は、公表の対象ではありません。

※行数が足りない場合は、必要に応じて別紙（任意様式）に記入してください。

【記入例】

3. 過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか (○×を記入)		工事年度
			保有している資格等※	
門真 太郎	○	○	講習会修了者	H 3 0
門真 次郎	○	○	検定会合格者	H 3 0
社員A	○	×		H 3 0
上記内容の公表可否	可 否 (公表には、ホームページ等へ掲載する)			
可				
不可				

※以下に示す

- ① 水道事業 (配管技能)
- ② 職業能力開発促進法に基づく職業能力開発訓練を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ③ 職業能力開発促進法に基づく職業能力開発訓練を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人日本配管技能者協会認定 (配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事に主に従事したものの氏名等を記入する。
※氏名については、公表対象外とする。

資格を有していなくても、経験を有していれば記入する。

※資格を証明する書類 (資格証等) の写しを添付してください。

※過去1年以内の工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。

※「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しない場合は、任意の記載となります。

※技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

※行数が足りない場合は、必要に応じて別紙 (任意様式) に記入してください。

【記入例】

水道法施行規則（参考）

※水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

- 4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施行技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

※水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

- 2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。